

愛勞連

愛知県労働組合総連合

名古屋市熱田区沢下町8-18
労働会館第2ビル
TEL 052-871-5433
発行人 阿部精六
号外 1996年10月1日

私とあなたの力で

総選挙

大規模アンケート

生活と職場を変えよう！

総選挙目前

10月8日公示・20日投票

絶好のチャンスいかして 声と力を合わせよう！

<愛労連幹事会が総選挙アピール発表>

21世紀へ、革新の新たなうねりつくろう 悪政さそり「オール与党」に審判を！

私たちのくらしと未来に決定的な影響をもたらす総選挙が、目前に迫りました。

今度の総選挙は、国民のくらしや願いをそつちのけに、公約違反と悪政のかぎりを尽くしてきた「オール与党」体制にきつぱりと審判を下し、政治を主権者たる私たち国民の手に取りもどす絶好のチャンスです。

「政治改革」の名による小選挙区制と政党助成の強行に始まり、年金大改悪、コメ、消費税、住専、沖縄・安保問題に至るまで、細川、羽田、村山、橋本の四代・三年余にわたる「連立」政権の政治は、いずれも、歴代自民党政権がやろうとしても出来なかつた悪政の競い合いでした。

しかし、国民はいつまでも黙つてはいません。自民からわかれ公明・民社を吸収した新進党はもとより、さきがけや社民（社会）党も「総自民党化」するもどで、「政党支持なし層」が激増しています。この中で、薬害エイズや沖縄、巻原発など、一人ひとりの勇気と意思表示が社会を動かし始めています。また、「住専に税金を使うな」「消費税五%はやめよ」の世論をはじめ、悪政への国民の怒りはかつてなく大きく、新たな政治革新の胎動も始まっています。東京・柏江市長選や足立区長選のように、広範な住民と日本共産党との共同による革新の勝利は、その典型です。

もどより、愛労連は要求で団結する労働組合であり、特定政党支持を機関決定して押しつける立場はどりません。ただ、だからといって私たちの未来に関わる総選挙に、傍観者でいることは許されません。足立区長選の結果を見て新党（民主党）旗揚げの決断がされたと伝えられるように、敵は極めて巧妙だからです。まして、シラケやあきらめは悪政をはびこらせるだけです。また、消費税をめぐる最近の各党のドタバタが示すように、総選挙は、何よりも私たちの要求前進の絶好のチャンスでもあるのです。

そして、切実な要求という点で言えば、いま「オール与党」体制のもとで狙われている健保本人二割負担など社会保障制度の大改悪や、労働者の権利と搾取強化をたくらむ労働法制の全面改悪、労働者・国民を犠牲にする「規制緩和」や「行政改革」など、さまざまな悪だくみを押し返し、財界・大企業優先の政治を国民本位の政治に変えさせるために、どうしても革新勢力の前進を図らなければなりません。

それぞれの組合員がこの三年余の悪政をしつかりと見つめ、家庭でも職場でも地域でも大いに要求と政治を語り、出来る事はそれに精いっぱいとりくむことで、「まともな政治」への流れ、「新たな政治革新のうねり」をつくろうではありませんか。

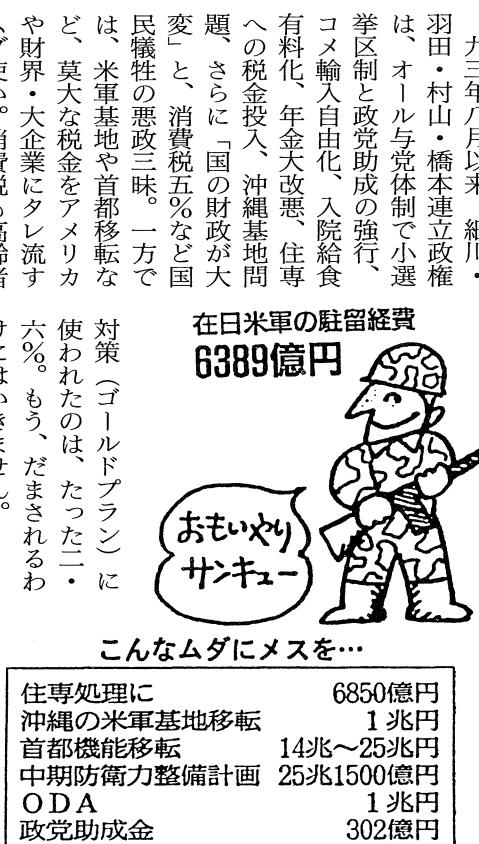
一九九六年九月二十五日

愛知県労働組合総連合 第二回幹事会

いま！ 悪政退治で要求実現のチャンス
あきらめないぞ！

総選挙前に、消費税率アップを推進してきた人
物や党が「凍結」をいいだしても「解凍」は見え
え。事実、橋本首相は「5%堅持」を表明し、新進
党の「税率据え置き法案」では、四年後に税率5%
への増税が明記されています。新党「民主党」も、
その代表である鳩山・菅両氏がこれまでの悪政をす
すめました。張本人であり、悪政を推進するオール与
党の一翼であることに違いはありません。

東京の柏江市や足立区では、こうした現状を国民
の力で革新的に打開しようと、日本共産党を与党と
する首長が誕生しています。いまこそ、政治を変え
る絶好のチャンス。総選挙闘争に全力を！



こんどの衆院選挙は
2回投票します

今度の選挙は「小選挙区・比例代表並立制」でおこなわれます。小選挙区制は、選挙区に一人の当選者。大政党に有利で、四割の得票で六割の議席を独占するという制度。政党助成では、自民・新進・社民・さきがけ、公明など（日本共産党は受取拒否）が三百二億円もの税金を受け取り、飲み食いやヘアーメイク代にまで使っていたことも発覚。

生活困難や雇用不安の増大など、労働者。国民の状態悪化が進むもとで、九七国民春闘への期待とたたかう決意が、かつてなく高まっています。

しかし、財界や日経連は春闘の解体や変質にむけ、執拗な攻撃を強めてきています。鉄鋼や電機など「連合」の主要組合も、隔年春闘の方針をうちだすなど、財界や日経連に迎合する姿勢をとっています。

このような情勢のなかで迎える九七国民春闘は、私たち自身が、職場・地域で、生活と労働の実態を出し合い、実感にもとづいた率直な要求をつくりあげ、練り上げられた要求の必要性や可能性について確信を深め、たたかう決意と構えを固めることで、いつにもまして重要になっています。また、財界・日経

連の攻撃に抗して、あらわな春闘を望むすべの労働者・労働組合と力を合わせ、統一闘争を発展させ、さらに消費税率の引き上げや医療・福祉制度改悪、労働法制改悪、沖縄・国民世論の革新的結集の先頭に立つことが求められています。

九七春闘での「くらしと労働実態・要求アンケート」は、組織内だけでなく、広範な労働者や労働組合に呼びかけ、壮大な対話・共闘で要求を築き、たたかう意欲とエネルギーを総結集します。そして、財界・日経連の春闘解体・変質を許さず、春闘の主導権をにぎる壮大な体制をつくるために、単産・地域労連をあげて運動を展開するものです。

「くらしと労働」実態・要求 アンケート推進月間

10月～11月 第1次集約 11月末
第2次集約 12月末

アンケート統一項目

「くらしと労働」実態・要求アンケート

このアンケートは、私たちのくらし、労働実態と賃上げ、労働条件、社会保障や政治に関する諸要求を明らかにするためのものです。勤務先所在地名、産業（業種）・職種名と以下の項目の該当する番号を回答欄に記入して下さい。

- ◆ 都道府県名 ◆ 産業（業種）または職種
 (回答)
 A. 性別 … (1)男 (2)女
 B. 年齢 … (1)10代 (2)20代 (3)30代 (4)40代 (5)50代 (6)60代以上
 C. 雇用 … (1)正職員 (2)パート・臨時・嘱託 (3)その他
 D. 組合 … (1)組合に加入している (2)組合はあるが加入していない (3)組合はない
 E. 家計 … (1)自分の収入のみ (2)自分を含む2人の収入 (3)3人以上の収入がある

質問1 あなたの生活実感は、つぎのどれに該当しますか？
 (1)かなり苦しい (2)やや苦しい (3)まあまあ (4)ややゆとりがある
 (5)かなりゆとりがある

質問2 あなたは、賃金を月にあといくら上げてほしいと考えていますか？
 ((1)～(10))ない場合は、回答欄に要求額を5,000円は(0.5)、13万円は(13)などと記入)
 (1)1万円 (2)2万円 (3)3万円 (4)4万円 (5)5万円 (6)6万円 (7)7万円
 (8)8万円 (9)9万円 (10)10万円

質問3 下記の質問で、あてはまる番号を回答欄に記入して下さい。
 イ. 仕事かいそがしそぎる、人手を増やしてほしい ……(1)はい、(2)いいえ、(3)わからない
 ロ. 残業代はきちんと支払われていますか ……(1)はい、(2)いいえ、(3)わからない
 ハ. 職場や仕事がなくなるのではないかという不安が ……(1)ある、(2)ない、(3)わからない
 ニ. 解雇を法律によって規制する必要は ……(1)ある、(2)ない、(3)わからない
 ホ. 疲労や仕事による健康の不安が ……(1)ある、(2)ない、(3)わからない
 ベ. 介護保障・健保本人割付など社会保障の拡充は ……(1)必要、(2)反対、(3)わからない
 ブ. 消費税の引き上げは ……(1)必要、(2)反対、(3)わからない
 チ. 住専への税金投入は ……(1)必要、(2)反対、(3)わからない
 リ. 米軍基地が日本にあることは ……(1)必要、(2)反対、(3)わからない

◆ あなたのご意見などを自由にお書き下さい。ご協力ありがとうございました。

地域では…

地域では、「大企業のしめつけで、仕事は大変だし会社は火の車」「産業の空洞化で地場産業はボロボロ」など、賃金や労働条件の地域的な特殊性と、その原因を明らかにします。また、「お年寄りだけの世帯も多く、介護や生活についての不安が多い」「スポーツでも文化でも、気軽に利用できる施設がない」など、地域には切実で多様な要求が渦巻いています。地域に働く労働者や住民との対話をひろげ、地域を変える共同をひろげましょう。

- (1) 地域内の中立や「連合」組合への働きかけを重視してとりくもう。
 (2) ハガキアンケートを活用し、目にみえる運動をつくろう。
 ① 大企業の門前などで、たたかう春闘をアピールしよう！
 ② 駅頭やターミナル、社宅や団地で、消費税や社会保障など諸課題とも結びつけて！

働く人の困りごとに
愛労連 労働相談110番

(052) 881-1411 受付 平日の月～金 AM10時～PM4時

大規模アンケート運動がスタート



職場では…

職場では、「賃上げはわずかなのに、年金のアップや公共料金値上げなどで、とても豊かとは言えない。そのうえ消費税5%なんて！」「不況を口実に仕事のとりあげやムリな仕事の押しつけで、とても働きがいなど感じられない」など切実。生活や仕事の実態について話合い、その苦しみの原因に何があるのかを明らかにして、たたかう決意と体制をつくりましょう。

- (1) まず、すべての組合員がアンケートにとりくもう。
 (2) 家族・知人・友人・仕事のつながりなどをいかして、アンケートをよびかけ、生活や仕事の実態を語り合あう。
 ① 両親や兄弟、娘や息子、働いている家族や親戚に！
 ② 職場での愛労連以外の組合員や組合未加入の仲間に！
 ③ 病院では患者さん、保育園では父母、仕事のお客さんなど仕事に関わるつながりもいかして！
 ④ 単産・単組は、同産業・業種の中立・「連合」組合に！

広範な労働者と でつかぐ「総対話」！

職場10万人の本音を
地域の本音を
要求集約で
カタチに！